

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

骨髄異形成症候群および再生不良性貧血の免疫組織化学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2004年4月～2018年3月に当院で骨髄異形成症候群、再生不良性貧血の病理診断を受けられた方

2. 研究目的・方法

骨髄異形成症候群、再生不良性貧血ともに骨髄の造血（血液の成分を作り出すこと）が低下する病気です。治療法、予後（病気の治療効果、治りやすさ）が異なるため、この2つの病気を確実に区別して診断する必要があります。しかし細胞数の少ない骨髄異形成症候群では、血液細胞の異形成（形の異常）を判断するのが難しく、再生不良性貧血との区別が難しい場合があります。

私たちは、この細胞数の少ない骨髄異形成症候群を、免疫組織化学という方法を使って診断し、再生不良性貧血と区別することはできないか、検討します。この方法が可能になれば、骨髄異形成症候群の患者さんにとって、適切な診断が早く行えるようになることが期待されます。

研究期間

医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長による研究実施許可後～
2020年 3月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、病理診断報告書

試料：昭和大学病院臨床病理診断科において病理診断を行ったあとに保存されていた病理標本
（患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部臨床病理診断学講座 氏名：塩沢 英輔

住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8122

研究責任者：

所属：医学部臨床病理診断学講座 研究責任者：瀧本 雅文